

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

石川県志賀町 富来病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	ド I 訓	救 臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
17,609	7,345	第1種該当	-	1 0 : 1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
60	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	60
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
32	-	32

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

## I 地域において担っている役割

当院は町内で唯一の公立病院として、地域医療を支えていくという使命のもと、内科と整形外科を中心とした診療体制のほか、不採算部門の診療や救急告示病院として24時間体制の救急患者の受け入れなど急性期から生活期において幅広く医療を提供する役割を担っている。

今後は、救急医療体制の維持や高次機能病院の後方病院としての役割、更には地域の診療所、介護福祉施設等の後方支援なども行いながら、住民が安心して暮らすことができるよう医療体制を確保していく。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

当院では、地域の実情に合わせて平成30年途中から地域包括ケア病床の設置や介護医療院の開設など病床機能の転換を行った結果、令和元年度から経常収支比率が100%を超え、令和2年度には累積欠損金も解消され、経営状況は大きく改善した。

しかしながら、令和6年能登半島地震により、これまでの入院診療や手術が継続できない状態となったことから、医療収益は大きく減少し令和6年度の経常収支は赤字決算となった。

今後は、地震により脆弱化した病院機能を早期に復旧し、医療従事者を確保することで病床利用率の向上を図るとともに、経営健全化に向けた効果的・効率的な改革を行うことで経常黒字への転換を目指す。

### 2. 老朽化の状況について

当院は、平成10年度に建物を新築したが年数の経過とともに老朽化が進み、順次、施設の改修や機器の更新を行っているが、医療技術の進化により医療機器等の高額化が進んでいる状況である。

このような状況により、1床当たりの有形固定資産の保有状況は増加傾向となっている。さらに、令和6年能登半島地震による施設改修や医療機器の更新により次年度以降も増加することが見込まれている。

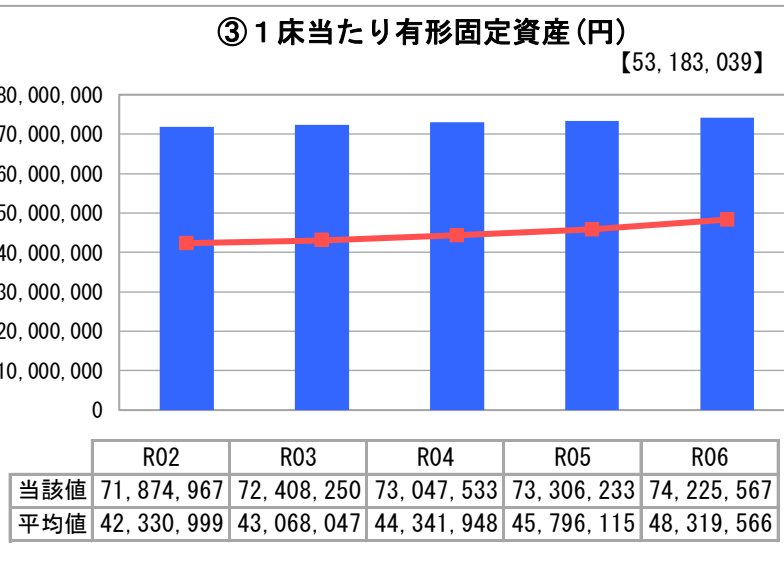
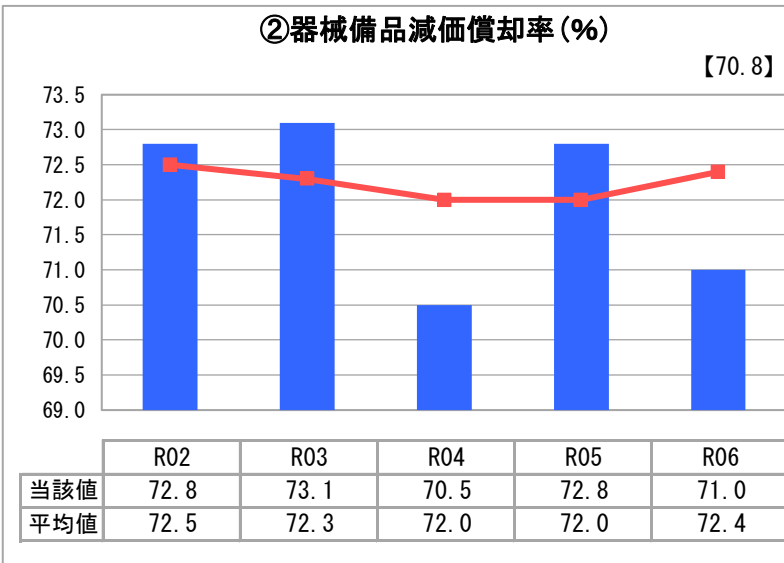
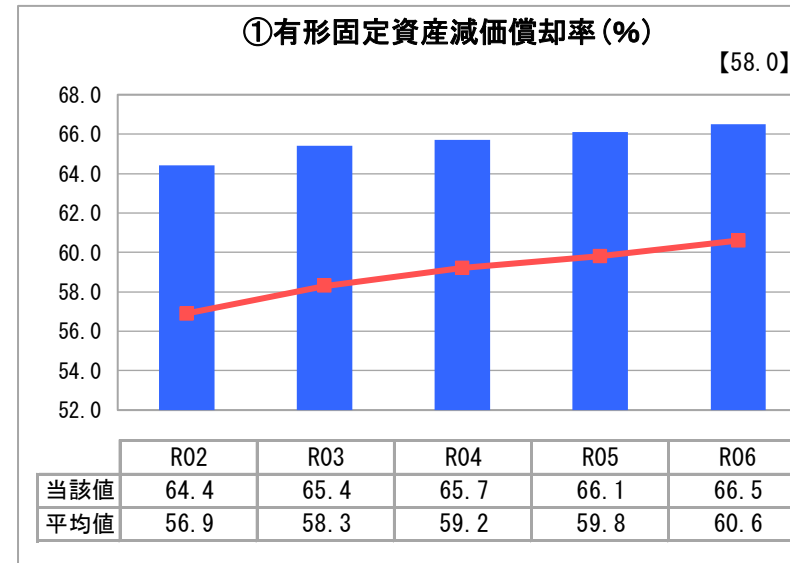
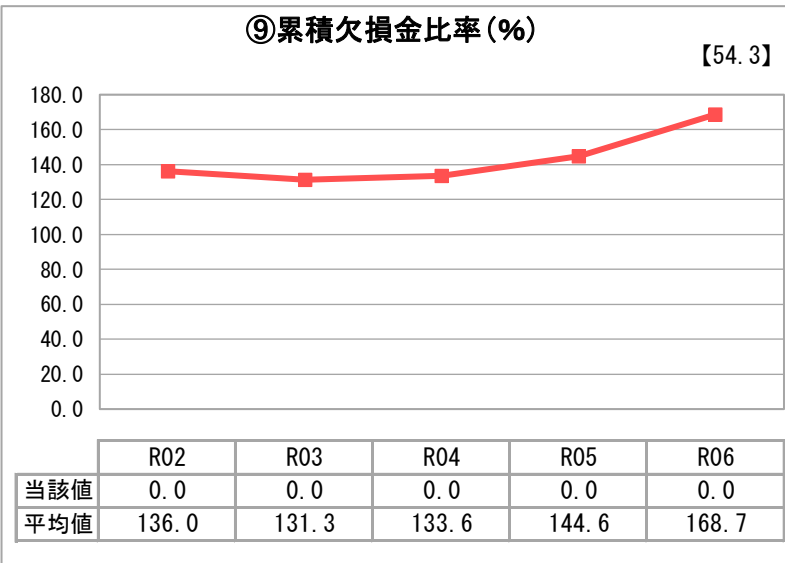
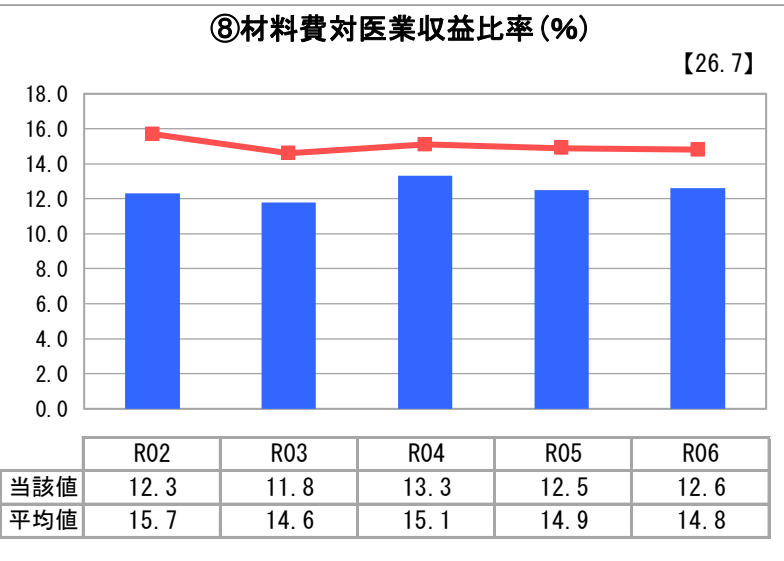
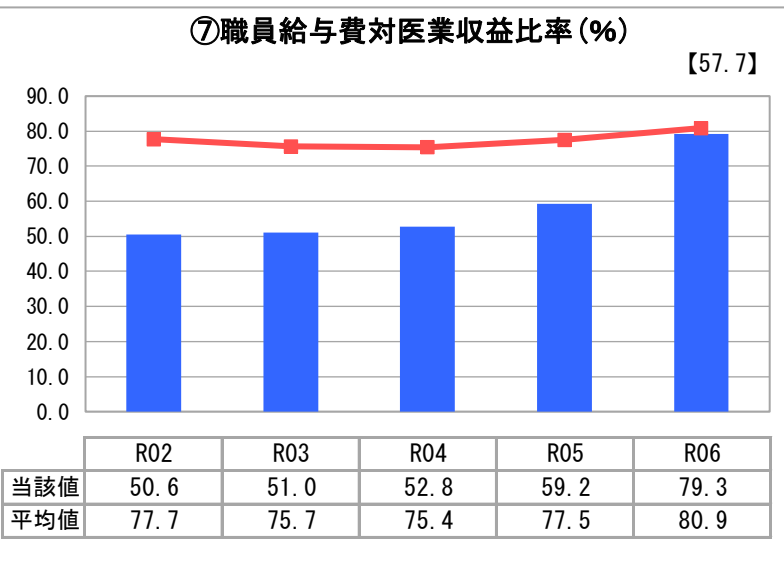
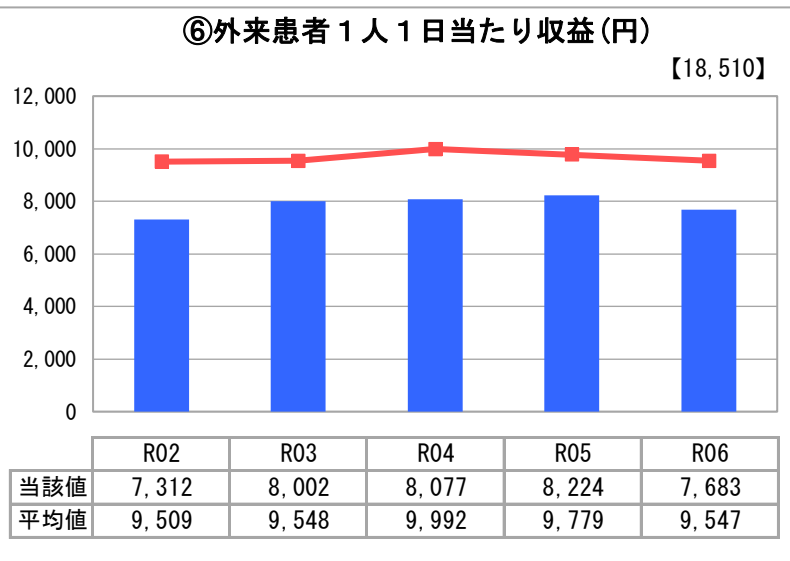
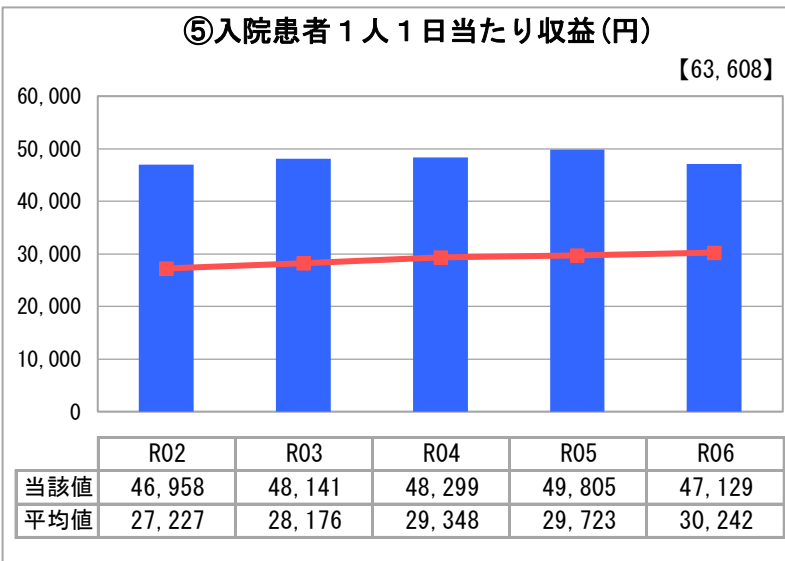
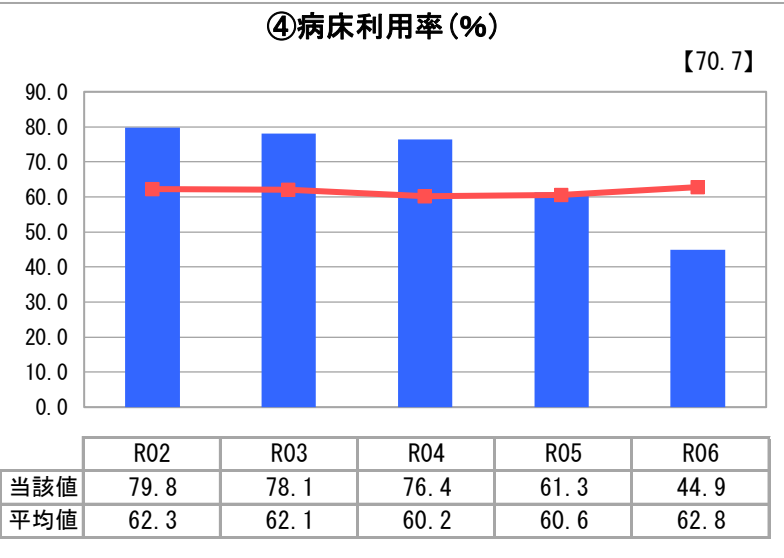
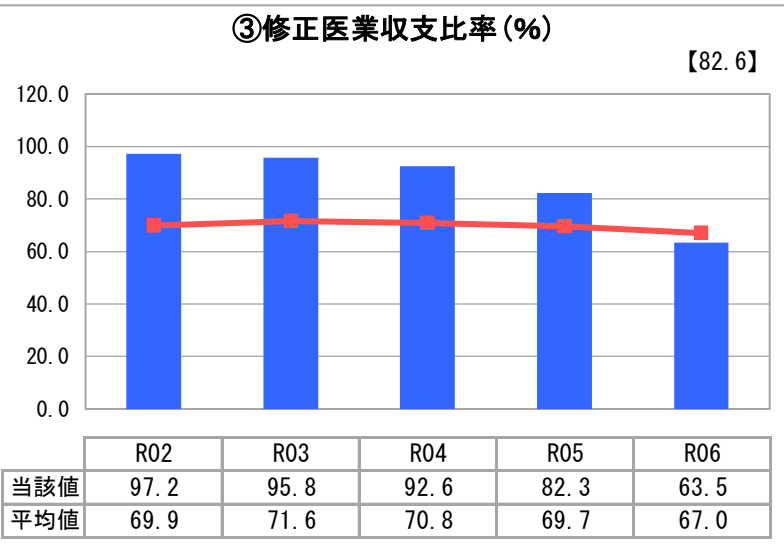
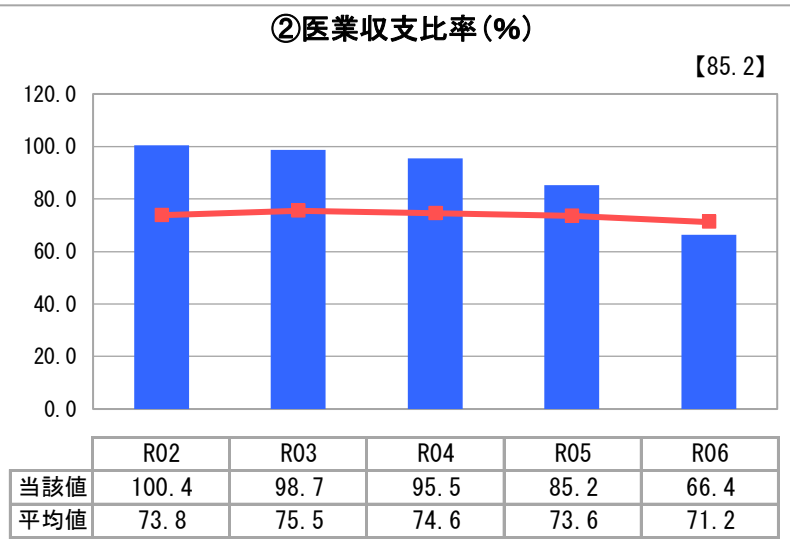
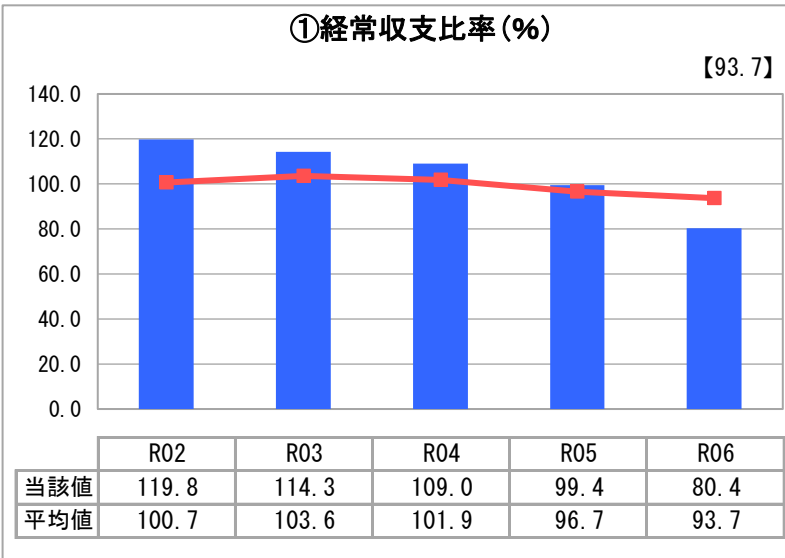
今後は、慎重かつ丁寧な取り扱いのもと、使用年数を可能な限り延長しながら、医療機器、施設設備投資を必要最低限に留めながら経営健全化を図っていきたい。

### 全体総括

当院では、医師・看護師等の不足、人口減少や少子高齢化を背景とした医療需要の変化、物価の高騰等による厳しい経営環境が続いている中で、令和6年能登半島地震により施設の大規模改修等に多額の資金が必要となるなど、今後の病院経営は厳しい状況となっている。

こうした状況を踏まえて、今後は、病院経営強化プランに基づいた改革を推し進め、更なる経営改善を図っていく。

## 1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。